



こうきた 3月号

杉並区立高円寺北子供園

成長していく子どもたち

園長 須田 なぎさ

早いもので、修了式まで、あとわずかになってきました。

先日、5歳児にし組は、高円寺学園へ行き、校内の施設や授業の様子を見せてもらい、生活の仕方について教えてもらいました。4歳児たんぽぽ組は、にし組に誕生会の司会のやり方を教えてもらい、挑戦します。それぞれ、4月からの新しい生活に、期待がもてるように、準備をしています。

入園・進級した4月の頃の子どもたちを思い出し、今の表情と比べてみると成長を感じます。

初めてすることは、「やらない」「できない」と言っていた子も、子供園では、やってみたら楽しいことがたくさんあるということを経験し、今ではどんなことにも意欲的です。自分の気持ちをなかなか言えなかった子は、先生と一緒にどう言ったらいいか、繰り返し考えていくことで、友達に自分の言葉で思いを伝えようとする場面が増えていきます。負けたり、失敗したりすることが嫌で泣いていた子も、負けてもまた頑張ればいいと、先生や友達に励まされ、最近では、諦めず、前向きに取り組めるようになっていきます。

子どもたちの成長は、一人ひとり、歩幅もスピードも道筋も違います。まっすぐに伸びていくばかりではなく、時には足踏みすることもあります。そんなとき、場面や幼児に合った言葉をかけたことで、前向きに乗り越えようとする力が湧き出る瞬間に出会ったり、新たな力・新たな持ち味を発見することができたりすると嬉しくなります。

進級するたんぽぽ組は、今年にし組から教えてもらったことを思い出し、年長組として頑張ってくれることを期待しています。修了していくにし組は、小学校へ行って、子供園でたくさん楽しんできたこと、頑張ったことを忘れずに、興味・関心を広げ、さらに大きく成長して行ってほしいです。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、この1年間子供園へのご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。PTA活動へのご協力においても、子どもたちのためにたくさん力を注いでいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。



《3月の保育》

★4歳児 たんぽぽ組

保育室前のグラウンドで思い切り体を動かしたり、テラスの陽だまりで春の日差しを感じたりして、新園舎での生活にも慣れてきました。自分なりに工夫したり、考えたりしたことを楽しみ、友達との関わり方にも変化が見られるようになりました。残り少ないたんぽぽ組の生活の中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを十分に味わえるようにしていきます。

今月は、今まで子供園で一緒に遊び、様々なことを教えてくれた年長組とのお別れを控えています。年長組に感謝の気持ちをもってお別れ会の準備をします。また、『次は自分たちが、年長組になるんだ』という意欲をもって、年長組から教えてもらった誕生会の司会や、当番活動など、様々な活動に取り組んでいけるようにしていきます。

★5歳児 にじ組

いよいよ、子供園で過ごす最後の1か月となりました。新しい園舎にもすっかり慣れ、友達と一緒にドッジボールや開戦ドンなどをして遊ぶことや、これまでに経験したことを活かしながら色々な物を作ることを楽しんでいます。3月は、修了に向けた取り組みが多くなりますが、その中でも自分のやりたい遊びを十分に楽しめるようにしていきます。

修了に向けて、1年間の生活や遊びを振り返りながら、たんぽぽ組への当番の引継ぎや修了製作など、様々な活動に取り組んでいきます。残り少ない毎日の中で、自分らしさを発揮し、友達との遊びを十分に楽しみながら、『子供園は楽しかった!』という満足感や大きくなったという自信をもって、修了を迎えられるようにしていきます。

